



# 神埼市 議会だより



産業建設常任委員会視察研修

(大分市役所・大分川ダム工事事務所)

## 2月定例会

次回定例会は5月29日開会予定です。

### 目次

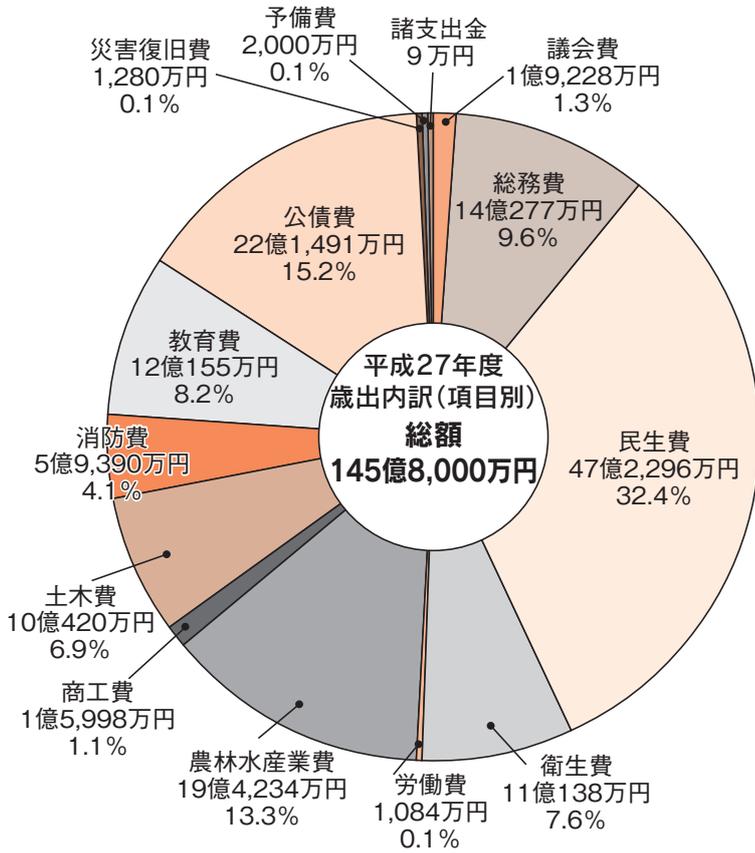
一般会計予算及び特別会計予算「これが聞きたい」	P2～P5
一般会計補正予算「これが聞きたい」	P6
各常任委員会Q&A	P7～P9
賛否議案、議会改革検討特別委員会	P10～11
常任委員会研修報告及び活動報告	P12～13
議会のうごき	P13
一般質問(16名の議員が登壇)	P14～21
HPをリニューアル・編集後記・前号の訂正	P22

# 第34号

平成27年5月13日  
2015年

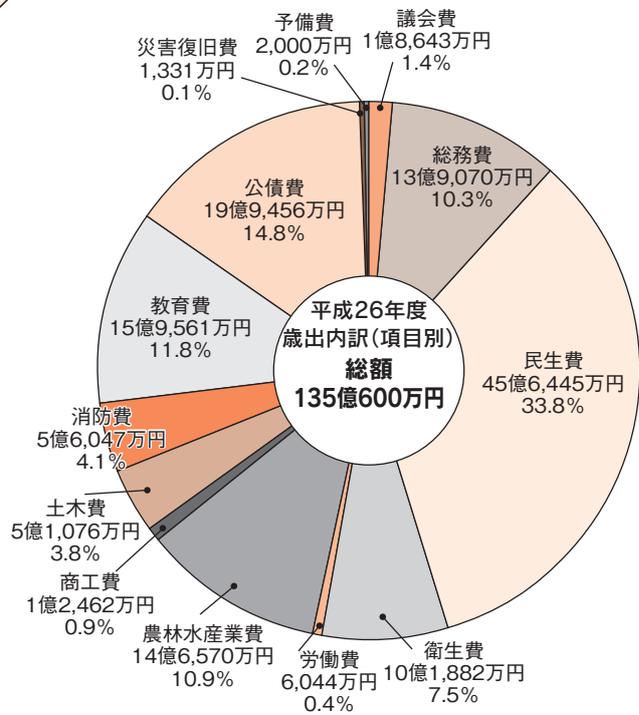
# 平成27年度一般会計当初予算 前年度当初予算比 7.95%増額に

平成27年度 一般会計当初予算



27年度の一般会計当初予算の編成にあたっては、主な継続事業として、市道国営千代田西1号線道路改良事業、農業基盤整備促進事業（暗渠排水工事）など基盤整備の充実。

また、主な新規事業として、神崎市合併一〇周年記念事業（広報番組ラジオ放送・バスラッピング・オリジナルナンバープレート交付）、櫛田宮前の旧古賀銀行神崎支店跡の復元工事の着手、ソフト事業では、フランス共和国ポークール市姉妹都市交流事業、勢福寺城跡整備活用事業などに取り組む。



平成26年度 一般会計当初予算

※円グラフの数字は、見やすいように金額を四捨五入して表記しています。そのため総額と各項目の合計は合いません。

## ☆新規事業及びその他の主な事業

- ・空き家改修費助成事業
- ・神崎市南部工業団地造成事業
- ・合併一〇周年記念地域次世代育成支援事業
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・神崎市サマーキャンプ事業

## ☆その他の主な事業

- ・中心市街地拠点整備事業
- ・農業基盤整備促進事業
- ・小学校、中学校校舎屋根・外壁改修事業（防災機能強化）
- ・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業

## 予算委員会の主な質疑

### 総務企画部

**議員** 議会活動を幅広く市民に知ってもらうためにも議会だよりが重要と考えるが、ページ数増等の充実を図るべきではないか。

**議会事務局長** 昨年度より、議会報告会を開催しており、その際に参加者に配布する報告会資料分があり、充実した予算である。

**議員** 地方交付税は、当初見込みは増額となっているが、今後の神崎市の財政運営はどう考えているのか。

**財政課長** 昨年と比較すると、1億円ほど増額されている。この影響は、平成26年度の錯誤分が計上され、額は1億9千万円である。

**議員** 中心市街地拠点整備事業については、全体構想が見えて

いない。事業完了後の誘客目標をどのように考えているのか。

**総務企画部長** 当事業については、コンセプトをもとに地元、CSO等のご意見を拝聴し、地元が活用しやすい拠点にしている。誘客数等については、今後詰めて行く。

**議員** 空き家改修費助成事業については、市内建築業者から借用等に関する想定や意見の聞き取り等は行っているのか。

**総務企画部長** 不動産会社等の意見を聞いて、参考にしている。  
**議員** 神崎市合併10周年広報番組ラジオ放送事業をするに当



たって、現在放送しているラジオ番組について、視聴者数などの調査を行っているのか。

**総務企画部長** ラジオ放送は、テレビと違って視聴率は調査していない。反響は熊本県まであったように記憶している。

### 市民福祉部

**議員** ゴミ処理費の予算が近年減少傾向にあったが、本年度予算が増加しているが、何故か。

**市民福祉部長** 平成26年度当初予算と比較すると27年度当初予算は年度分で計上しており、一部年度で計上できなかった部分があり、補正で4,982万円を計上し、例年並みの金額で予算計上している。

**議員** 私立・管外保育所運営事業において、認定こども園利用の保護者負担分はどこで徴収するのか。

**福祉課長** 認定こども園は、園が徴収している。

**議員** 保育料の軽減は、どう

なっているのか。

**福祉課長** 第1子は現行どおり、第2子半額、第3子無料、小学3年までは、軽減割合は同じで変わっていない。

**議員** 乳幼児一時預かり事業で、一時預かりを相談しても保育園の都合で対応してもらえないと聞くが、どのような状況か。

**福祉課長** 国の基準どおり保育を行っており、一時、保育士不足により対応が出来ていない。

**議員** 生きがい活動支援事業について、入浴サービスは千代田、脊振の利用者も「もみじの湯」を利用することは可能か。

**高齢障がい課長** 入浴施設はそれぞれあるが、デイサービスのメニューに組み込めば可能です。

## 農業委員会関係

**議員** 過去、女性農業委員での婚活事業が行われていたが、現在も継続されているのか。

**農業委員会事務局長** 現在は婚活事業は行っていない。

## 産業建設部

**議員** 中山間地域等直接支払事業において、新たに第四期事業が始まることとなるが、高齢化や後継者不足等を踏まえ、今後の中山間地域事業の推進についての考えは。

**農政水産課長** 推進会議を3回開催し、その中でも平成27年度からの新たな第四期事業への加入推進・取り組み強化の依頼を行っている。加入を見合わせる意向の組織に対し、近隣協定組織への編入も含め、今後懸念される農地荒廃対策の充実を当該事業の交付金を活用して取り組んでいただくよう働きかけている。



**議員** 農地中間管理事業において、農家自体が農地を「農地中間管理機構」に預けることに困惑しているようであるが、その対応や説明をどのように行っているのか。

**農政水産課長** 集落営農組織の法人化の協議を集落で十分に行ってから農地中間管理機構に委ねるか検討していただいている。中間管理機構に農地を預けることは強制ではない。

**議員** クリーク防災機能保全対策事業の工事発注遅れによる農

業共済面積の変更で苦慮されており、発注を早める必要があると思うが。

**農政水産課長** 早期着工を前倒して発注する。崩壊が2割ほどある法落ちに関しては、県管理部分でも部分的に対応して貰っている。

**議員** 韓国霊岩郡交流事業で4月の訪韓は、議員の経費が公費支出であるが、市民感情から公費支出は好ましくないとと思うが、将来的な交流も踏まえどのような考えか。

**市長** 議員もこれまで私費で行かれた方もある。百済門の本物を造りたいので、一度はぜひじかに見て頂くことも大切と考える。

**議員** 南部工業団地造成事業については、工事コスト削減からクリーク防災機能保全対策事業の残土等を活用すべきではないか。

**産業建設部長** 当工業団地造成工事の盛り土については、東部

農林事務所などと協議し、コスト削減に努めて行きたい。

**議員** 「神崎市の基幹産業は農業」と位置付けされているが、ハード事業と同様に新たな農業政策としてソフト面の支援策を。

**市長** 意見交換などを行い、新しい品種対応への支援を考えた。農業者の所得アップを図って行きたい。

## 教育委員会

**議員** 学校教育現場が以前と比べて荒れていると聞く。具体的な対策を行っているのか。

**学校教育課長** 生徒への対応について、当初は教師の生徒指導によるものですが、教師指導を複数人化するなどによる指導の工夫や保護者会の協力、スクールサポーターと連携した指導により効果が現われてきた。年度当初の4月は重要な時期と捉え、学校と連携しながら対処していきたい。

**議員** 学校の統廃合について将来的にどのように考えているのか。

**教育部長** 脊振小学校・中学校については、現在のところ統廃合の考えは持っていない。

**議員** 神崎市サマーキャンプ事業の事業目的が理解しにくい。宿泊訓練を充実させた方が良いと思うが。

**教育部長** 今、行っている宿泊訓練との違いは二泊の日程を計画している。サマーキャンプ地である九重は、雨が降れば九電地熱発電所の資料館等もあり、対応できる。



**議員** 脊振学校給食との統廃合後も、ランチルームで給食を続けていくのか。

**教育部長** ランチルームでの給食は変わらない。

**議員** 神崎市内小中学校国際交流事業で、神崎中学校・千代田中学校ではどのような活動を行うのか。

**学校教育課長** 国際交流も茶道、華道、古事記など日本の歴史を知り、日本文学を知ることが大切だと思うので、しっかりと学習させ国際交流に生かしていく。

**議員** 教育ICT管理事業で佐賀新聞電子版の使用が予定されているが、どのような記事を使うのか。学習情報端末にあって入れる必要があるのか。

**教育部長** 子どもの新聞離れが囁かれているなかで、小さい時から新聞に親しむを持ってもらう観点から、特定な分野を問わず授業で取り入れたい。

また、授業で端末を使い友達と情報交換を図りながら新聞に親しむことも重要と考える。



### 神崎市国民健康保険 事業特別会計

**議員** 保険税の所得割限度額が1万円上げられたと理解するが、現行の医療分の均等割・平等割・所得割を合せた51万円から1万円上がった場合の所得は。

**市民福祉部長** 一世帯一人が国

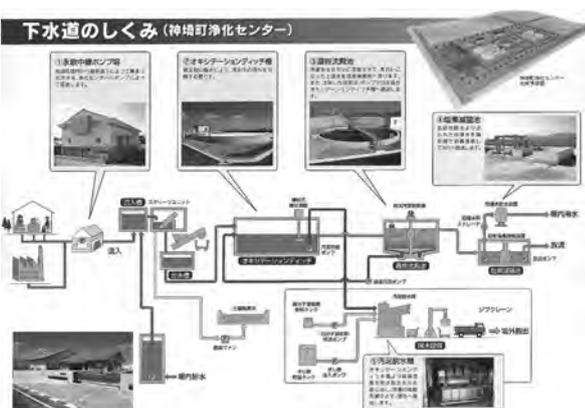


民健康保険に加入されている場合の所得は、5百15万3千円が医療費分の限度額に達する所得である。

### 神崎市下水道事業 特別会計

**議員** 農業集落排水事業の現在の加入率は。また、使用開始から何年経過しているのか。

**下水道課長** 農業集落排水事業の加入143戸で加入率84%。供用開始して16年、接続していない理由は分析していない。



補正予算

平成26年度一般会計補正予算 第6号  
3億4,685万7千円の減額

・各事業の決算見込みに伴う補正、農業基盤整備促進事業、森林整備加速化・林業再生事業、農業用施設の災害復旧費などがあり、採決の結果、全会一致をもって原案を可決した。

平成26年度一般会計補正予算 第7号  
1億3,071万5千円の追加

・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業であり、採決の結果全会一致をもって可決した。

平成26年度一般会計補正予算 第6・7号(補正後の額)  
歳入歳出 149億6,090万4千円

これが聞きたい！



市民福祉部 せふり保育園運営費 △1,000万円

Q 当初予算で運用委託料をどのように積算していたのか。

A 当初見込んでいた園児数に対し、実際の園児数が少なかった。0歳児から預かることができるが、最近は3歳児から預ける方が多い。過去の数字を参考にして計上していた。

産業建設部 森林整備加速化・林業再生事業 1,807万1千円

Q シイタケ部会へ本事業で補助することによって、どれくらいの収益がシイタケ部会に上がると見込んでいるのか。

A 3月から4月にかけて植菌し、早くて翌年の春に収穫できる。通常は春と秋に収穫できるが、ハウスで栽培している方もいる。榎木ほだきからの収穫は概ね数年程度で、育成環境も影響し、量的な変動がある。

総務企画部 定住促進対策事業 4,720万円

Q 脊振地区と千代田東部地区が補助金の加算があるが、議論を重ねたのか。

A これまで、市内における近年の新規住宅着工の状況等を考慮し、併せて市内の公平性にも配慮しながら庁内議論を重ねてきた。今回の事業は初めての取り組みでもあり、事業開始後の軌道修正等も考慮している。

市民福祉部 ベビー用品貸与事業 390万6千円

Q 購入予定のベビーカーやベビーベッドの50台の根拠は。

A 貸与の対象者としては、市民税非課税世帯及び均等割りのみの世帯を想定しており、購入数根拠としては、平成25年度児童手当の新規認定者の課税状況を考慮した数である。

## 各常任委員会のQ & A

### 総務常任委員会

#### 《議案第 1 号》(起立多数)

#### 神崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

##### 総務企画部

Q

神崎市特別職報酬等審議会の答申において、社会経済情勢を見て報酬の見直しをするという内容であったが、社会経済情勢を見てとは具体的にどのようなことなのか。

A

神崎市特別職報酬等審議会とは民意を反映するために設置している委員会である。神崎市内の経済状態や国の動向等を考慮して答申が行われる。景気の状態や議会においては、組織の見直しをしたことや議会改革について取り組んでいることから、市長が審議会に諮問を行い、計3回の審議会による審議を経て、今回の答申が市長へ行われた。

#### 《議案第 2 号》(全員賛成)

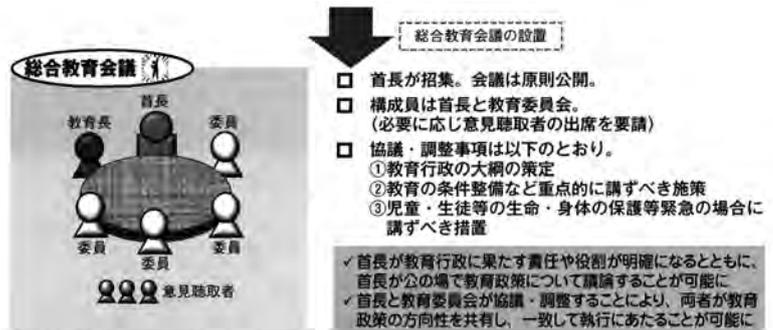
#### 神崎市職員の定数条例等の一部改正について

Q

新教育委員会制度では総合教育会議が創設され、招集するのは市長だが、教育委員の意見は生かされるか。

A

教育委員会としての政治的中立性の確保、教育の執行機関としての立場、できる限り幅広い教育委員会の意見を出していただけるように、教育委員を1名増員している。教育方針や教育の基本になる部分についての事務局は教育委員会で掌握した方がいいと考えており、教育委員会の現場の執行機関として意思を尊重したいと考えている。

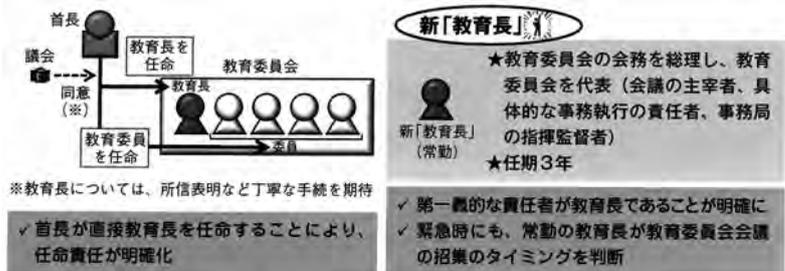


Q

新教育委員会制度において、教育長の任期と教育委員の任期が1年違うのは、どのような理由によるものか。

A

新教育委員会制度の中で、教育長の任命は市長となる。市長の任期は4年であり、その任期中での任命を重視されたことから、教育長の任期は3年と定められている。市長任期の中で1回は教育長を任命するという事で、教育行政へ関わることとされている。



## 各常任委員会のQ & A

### 文教厚生常任委員会

#### 《議案第7号》(全員賛成) 神崎市立せふり保育園設置条例の一部改正について

##### 市民福祉部

**Q** せふり保育園の将来的な運営について、せふり保育園の定数が何名を下回った時に具体的に考えていくのか。

**A** 園児数も少なくなっており、早急に検討するよう考えております。



せふり保育園

#### 《議案第10号》(全員賛成) 神崎市教育委員会委員の定数に関する条例の制定について

##### 教育委員会

**Q** 教育委員を1名増員する理由は、現在の構成にどういう課題があって増やすのか。

現在の教育委員会の委員は教育長を含めて5名となっております。学校の教職員経験者としては2名、保護者代表、民間企業にお勤めの方となっております。1名増員する根拠としては、高等教育に精通された方や幼児教育に精通された方、義務教育に関連する知識をお持ちの方にも入っていただいた方が、より活発な意見をいただけるのではないかと考えております。

教育の専門家が教育委員の中に一定数必要だろうということ、実際に子供を育てられている方の意見をきちんと反映できる教育委員会であることが必要だと思っております。第三者としてみることができる人も必要だろうという部分では、ある意味で幅広い構成の方が、色んな方面からの意見がいただけるのではないかと思います。

**Q** 今回の改正では教育委員会の問題に市長の考えが大きく影響するが、どこまで市長の考えを受け入れるか。



- ▶ 教育委員長と教育長のどちらが責任者がわかりにくい
- ▶ 教育委員会の審議が形骸化している
- ▶ いじめ等の問題に対して必ずしも迅速に対応できていない
- ▶ 地域住民の民意が十分に反映されていない
- ▶ 地方教育行政に問題がある場合に、国が最終的に責任を果たせるようにする必要がある

**A** 教育委員会そのものは、引き続き執行機関となります。教育現場をつかさどる部分は、教育委員会であり、そのトップである教育長です。何か問題があった場合には、教育長と市長が同じ立場の中で教育行政というものを考えた方がいいだろうということです。

## 各常任委員会のQ & A

平成27年5月定例会(議案8・9号、議案第13号)

### 産業建設常任委員会

#### 《議案第8号》(全員賛成)

#### 直鳥環濠地区農産物直売施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について

**Q** 農産物直売所での販売額の20%を使用料(売上額に率を乗じた額)として徴収する方法は、好ましくない。また、農産物等を販売される地元農家の生産意欲・販売意欲等を損ねる恐れがあるが。

**A** 旧条例では、施設使用目的別に使用料設定がなかったため、今後、農産物等の販売活動が再開された場合など他の営利目的の個人・団体等に対応するため、細分化した施設使用料設定を行っている。今回の施設使用料(売上額に20%を乗じた額)については、これまでの農産物直売所運営費徴収料と同じ考え方で使用料設定を行っており、再度、地元協議会が利用される場合も従前と同じ条件で行えるよう考慮している。また、地元及び団体等からの販売利用申請時の際に販売行為内容や運営手法等を判断し、適宜、対応していきたい。

**Q** 販売休止後の施設の利用は、どのように考えているのか。また、地元への払い下げ等は考えていないのか。

**A** 菱の里建設時に、加工所と販売所及び畳スペースは、地元が管理しながら公民館のような利用をしてもいいという話があったと聞いている。払い下げとなると、他の地区の施設とのバランスもあると思う。地域の方の利活用についても配慮をする必要があると考える。

#### 《議案第9号》(全員賛成)

#### 神崎市営住宅管理条例の一部改正について

**Q** 用途廃止により下神代団地の住宅が一戸となるが、防犯の観点からも他の市営住宅等へ転居されるようなことは必要ではないのか。

**A** 入居者にあっては、現在転居の意向は持たれていないが、今後の検討事項であると考えている。

**Q** 当該敷地は一定の面積があるが、今後の利活用の計画はあるのか。

**A** 現時点で結論は出ていない。地元の意見を聞きながら利活用について考える必要があると考えている。

#### 《議案第13号》(全員賛成)

#### 市道路線の認定について

**Q** 市内には、緊急車両が進入できない路線も存在する。最低でも、生命や財産を守る観点から、緊急車両が進入できるような施策が必要ではないのか。

**A** 基本的には地元の区長の要望を踏まえ、対処していきたい。

**Q** 市道区域変更「防城線」において路線認定箇所へ接続し、北側の馬場川に架かる橋は、極端に幅員が狭いが、今後架け替えの計画はあるのか。

**A** 当該橋の老朽化と狭小は認識している。河川管理者の土木事務所と拡幅要望について、今後協議していきたい。



## 賛否があった議案を紹介します。

### 〈議案第 1 号〉

#### 神崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

##### 議案内容を紹介します

神崎市特別職報酬等審議会の答申により、議員報酬月額「300,000 円」を「310,000 円」に改める。

##### 〈議案に対する反対討論〉 中野 均 議員

市民を取り巻く状況を見ると、年金の引き下げや昨年 4 月からの消費税の増税。地方においては景気回復の兆しは感じることができない状況であり、苦しい生活状況です。

平成 25 年 9 月議会での議員定数削減の理由は、他市と比較して議員数が多いこと、また市の財政状況を憂慮しての削減ではなかったのか、定数削減を行っての経費削減効果も現れていないことも含め反対討論とします。

##### 〈議案に対する賛成討論〉 白石 昌利 議員

神崎市特別職報酬等審議会答申の額改定理由として、「特別職の報酬及び給料等については、合併 8 年を経過し据え置きとなっている。市民を取り巻く厳しい経済情勢や雇用状況はあるものの、議員報酬については全国的にも下位に位置し、県内 10 市の中では最下位の状況である。現実として、兼業を持たない者からすれば、生活基盤があった上での議員活動であり、以上のことから、嬉野市と同等程度が望ましいと考えた」とあり審議会の答申を尊重すべきであり賛成討論とします。

### 〈議案第 8 号〉

#### 直鳥環濠地区農産物直売施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

##### 議案内容を紹介します

直鳥地区の農産物直売施設の利用系形態の変更に伴い、使用料の変更を行う条例改正。

##### 〈議案に対する反対討論〉 野口 英樹 議員

予算特別委員会でも質問しましたが、他の市町村の直売施設等を参考にして料金が改定されているが、非常に割高になっていることと、利用者が使いにくい料金改定になっていることを指摘し反対討論とします。

### 〈意見書第 1 号〉

#### 政党助成金の廃止を求める意見書（案）

##### 意見書の内容を紹介します

政党助成金制度が 1995 年に創設されて以降、毎年 320 億円もの税金が、日本共産党以外の政党に投入され、2014 年末までの支給された総額は 6,311 億円にのぼる。

そもそも政党助成金は、支持もしていない政党に、事実上の「献金」を国民に強要するものであり、「思想信条の自由」「政党支持の自由」に反する憲法違反の制度であり、制度の廃止を強く求める。

## 〈意見書第2号〉

### 社会保障の連続削減を中止し、充実を求める意見書（案）

#### 意見書の内容を紹介しす

安倍内閣は、社会保障に充てるとして、2014年4月消費税3%の引き上げを行い、8兆1千億円の増税をしながら、「社会保障の自然増に切り込む」という大方針を掲げ、社会保障の現状さえ維持せず、際限のない負担増と削減を進めています。

そもそも国には、憲法25条に基づき、社会保障を充実する責任があります。そして社会保障政策は経済成長にとっても有効であり、全国的な活性化や雇用の拡大にもつながることは全国の実例からも明らかであり、よって社会保障の充実を強く求める者です。

**賛否一覧表** ※議案について、賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号	議決結果	永沼 彰	山口 義文	西原 正剛	宮地 明	簗原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	廣瀧 恒明	木原 憲治	松本 軍二	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義
議案第1号	可決	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第8号	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第1号	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
意見書第2号	否決	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○

## 議会改革検討特別委員会の委員長報告

山口 義文 委員長

議会改革検討特別委員会では、去る11月10日に第1分科会、第2分科会を開催しました。2つの分科会とも調査体制を整え、各項目について具体的な審議に入りました。

そして3月13日の小委員会、分科会からの報告内容を整理し、3月19日の特別委員会では、それぞれの分科会より審議内容の詳細について報告を受けました。両分科会とも審議途中で結論は出ていませんが、現段階での意見交換という形で、全員での検討を行いました。

第1分科会では、議案審議の方法、各種委員会及び審議会との関わりをテーマに、第2分科会では、予算特別委員会の組織機構について審議を行っています。次回の分科会においては、県内市議会の調査結果

を基に、課題解消のための方策について継続して審議してまいります。

その中で、今後、改革案、改善案をさらに具体化し、改革案が神崎市議会でも十分に機能するよう精査し、まとめていきたいと思えます。

そして実施が可能なものから順次、実践し、議会活動を明確に市民に伝え、開かれた議会の実現に努めてまいりたいと思えます。

## 総務常任委員会の委員長報告

松本 軍二 委員長

平成27年2月6日に、佐賀広域消防局の通信指令センター視察の後、佐賀広域消防局の概要と火災・救急・救助等の実績について調査研修をしました。

佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部が、平成25年4月に合併。佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町の5市町が統合し、業務開始されている。

統合による効果として、一般建物火災の場合、消防力は統合前の約2倍、到着所要時間も短縮した。又、中高層建物火災の場合においても、早期に、はしご車を現場に投入することが可能となり更に、重複した救急出動でも、非番での対応が不要となり、常に人員が

確保されており災害への対応力の低下を招くことがないなど、効果的な運用が可能となった。

又、医師同乗救急車を出動させることにより、救命率の向上が図られるようになったと説明を受けた。そして、統合によりメリットが拡大してきた事と、住民の安心安全の確保の為に、常に緊張感を持って訓練しながら、業務がなされている事を改めて実感した。



総務常任委員会行政視察（佐賀消防局）

## 文教厚生常任委員会の委員長報告

田原 和幸 委員長

1月20日と21日、岡山県総社市及び岡山県浅口市に行政視察研修を行いました。

総社市は「障害者千人雇用事業」の取り組みについて視察を行いました。法令で定める給付以外に独自の手法で障害者の就労を進める取り組みは、市の責務と市民の役割を明確にしたものでした。市長が覚悟を持って、この事業に着手したことが高い評価を受けている最大の理由だと思えます。「愛されること」「褒められること」「役立つこと」「必要とされること」この4つが究極の幸せであり、この4つのすべてが、働くことを通じて得られ、感じることのできる地域でなければならぬと市長が認識し、これを職員又市民が共有でき始めたところですが、その言葉が印象的でした。まさに、これが福祉の理念

であり、神崎市においても、子育て支援、学校教育の充実等様々な事業に着手していますが、大人も子供も共に成長していくような事業のあり方を追求していけば、事業目的以上の成果も出せると思います。ぜひ、国の制度に頼る事業だけでなく、神崎市独自の着眼点を持って研究して頂きたいと感じました。

文教厚生常任委員会としても今後のテーマとして研究していきたいと思えます。



文教厚生常任委員会行政視察（総社市）

## 議会広報編集特別委員会の委員長報告

野副 芳昭 委員長

去る1月14・15日に広島県大竹市議会と坂町議会に「議会だより」編集について研修を行った。

大竹市議会は編集委員が7名で、内容が偏らないように工夫されていた。ページ数は15ページと少ないが、内容が充実したもので非常に見習う点があった。

特に注目した点は、表紙が市民の写真をシリーズで掲載し、市民活動のPRのページもあり、読む側として身近に感じられ「見てみよう、読んでみよう」と思わせるのが感じられた。

坂町議会は、過去に表彰を受けているだけあって、「議会だより」編集に対する強い意気込みが感じられた。すべての内容を編集委員で行い、一般質問の原稿も編集委員で執筆されていた。内容において議員や執行部からの指摘もなく、毎回完成まで20日間で作業を

されていた。内容は子どもの写真が多く、賞品付きクイズ掲載等、市民の興味を引く工夫がされていた。

神崎市の「議会だより」は、写真が少なく、文字が多く、文字の配列にも工夫が必要ではないのか、審議の結論をもっとまとめて掲載してはどうかと指摘をいただいた。

今回の研修を活かし、市民の方が楽しみに読んでいただけることを目指し編集活動に取り組んで行きたいと思う。



議会広報編集特別委員会行政視察（坂町）

## 《議会の動き》（H27年1月～3月）

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| 1月7日 議会広報編集特別委員会                       | 2月20日 総務常任委員会                   |
| 1月14日～15日 議会広報編集特別委員会行政視察研修（広島県大竹市・坂町） | 2月20日 文教厚生常任委員会                 |
| 1月16日 議会広報編集特別委員会                      | 2月23日 議会全員協議会                   |
| 1月20日～21日 文教厚生常任委員会行政視察研修（総社市、浅口市）     | 2月25日 議会運営委員会                   |
| 1月23日 第212回県内市議会議長会                    | 2月27日～3月24日 平成27年神崎市議会第1回定例会    |
| 1月29日 議会広報編集特別委員会                      | 3月2日 平成26年度予算特別委員会              |
| 1月29日 茨城県守谷市議会より行政視察                   | 3月5日 議会広報編集特別委員会                |
| 2月3日 兵庫県赤穂市議会より行政視察                    | 3月6日～7日 韓国霊岩郡訪問（議長・副議長）         |
| 2月3日～4日 全国市議会議長会基地協議会第78回総会（東京都）       | 3月10日 議会運営委員会                   |
| 2月4日 文教厚生常任委員会                         | 3月12日 平成26年度予算特別委員会             |
| 2月6日 総務常任委員会                           | 3月12日～13日、16日～17日 平成27年度予算特別委員会 |
| 2月9日 議会全員協議会                           | 3月18日 総務常任委員会                   |
| 2月13日 埼玉県北葛飾郡松伏町議会より行政視察               | 3月18日 文教厚生常任委員会                 |
| 2月16日 議会改革検討特別委員会 分科会                  | 3月19日 産業建設常任委員会                 |
| 2月17日 産業建設常任委員会                        | 3月19日 議会改革検討特別委員会 小委員会          |
|  | 3月19日 議会改革検討特別委員会               |
|  | 3月24日 議会全員協議会                   |

脊振町老朽化する公共施設整備のビジョンを早く

市 脊振町を優先したい気持ちは持っている



白石 昌利 議員

議員 脊振支所、診療所、公民館が老朽化して、整備・再編が喫緊の課題になっているが、今後の取り組みと考えを伺う。

松永総務企画部長 極力早い段階で方向性の取りまとめを行っていききたいと考えている。

《城原川の治水対策》

議員 城原川治水の推進について、山口佐賀県新知事に対して強く働きかけをしていただきたいが、今後の考えを伺う。

市長 これからの神崎の治水対策、水没地区だけでなく上流から下流まで、様々に困っている事



丸亀に夢のある市民球場をつくらう!!

丸亀市民球場の整備コンセプト

- Movement 野球場を拠点とした地域の活性化
- Amusement 娯楽性が高い魅力ある施設
- Just ちょうどよい規模、時代にあった施設
- Official 国際規格にも対応した本格的野球場
- Restoration 野球王国の復活

の対策をお願いしていきたい。

《これからの図書館を考へる》

議員 市立図書館は、自治体及び神崎市文化の顔である。その館長には、運営の権限を持たせて頂く熱意が必要だが考えを伺う。

教育長 市長と相談していききたい。

《スポーツの振興》

議員 地域の活性化、万人の人を寄せる野球、サッカー競技また、災害時には防災拠点となるこういった施設があれば素晴らしいことだと思いが、野球場を核とした総合公園の考えを伺う。

市長 前向きにやりまです。活性化の一つの方策だと思うので今後しっかり考えたい。

10年目を迎える合併と市長マニフェストの合併について

市 神崎市単独での方向性を出し、しっかりと臨みたい



田原 和幸 議員

議員 目指して来た合併は、相手方から時期尚早の返答態度を示されたため報告を受けたが。

松永総務企画部長 1月8日、市長と相手方トップが会談をされたが、現時点においては協議できる状況にはない。

議員 全員協議会での報告があつた時に、私は「もう切り替えた方がいい」と発言しました。合併という花を咲かせる芽は残すとしても、市単独での懸案事項の解消解決に向けて始動する時機ではないか。

市長 非常に難しく微妙なところ。将来、市民負担の軽減を図るなら一緒になった方がいいという思いがまだある。しかし、神崎市としてのプランを市民の理解を得、立てるべきだと思っております。

議員 合併を見据える中で、市単独で取り組む事業、取り組める事業が手を付けられていないと感じる。どう取り組むのか。合併特例債、あるいは過疎債など財政状況もある

と申す。市長 方向性を出したい。行政方の機関が一ヶ所にあれば非常に効率的だ、JAさんの協力も得たい。時間が迫っているので、しっかりと望みたい。御協力を。

その他の質問 10周年事業について、西九州大学と神崎の「歴史共同講座開設の提案」



地方創生法に基づき、神崎市の経済等活性化対策は

市 国の交付金を活用し地域経済活性化に努める



廣瀨 恒明 議員

王仁顕彰公園の整備、門前広場や古賀銀行跡を核として、中心市街地拠点整備、ひいては3町の活性化を実施していきます。

**議員** 神崎市総合計画に基づき、賑わいのある商業の創出、魅力ある観光振興を講じておられる。市長が言われる、吉野ヶ里公園の来訪者を

**議員** 地方創生の一環として、過疎対策事業債の拡充もされている。地方創生特別分も創設されるが、高齢化や人口減少が深刻な過疎地域で、しっかりと活用できる方策を。

ほっておく事はありません。王仁顕彰公園、仁比山公園、九年庵、脊振ジャピー跡、山岳仏教等又後鳥羽神社等、最後は門前広場で特産品の買い物、夢は大きく広がります。市長の夢をお聞かせ下さい。

**市長** 議員より提案して頂いた、数多くの歴史文化遺産が存在しており市の財産です。後世に引き継いでいく責任がある。



古くなった脊振診療所

**松永総務企画部長** 議員のおっしゃるとおり、平成27年度計画で、過疎地



古くなった脊振公民館

における公共施設の老朽化対策等に対応する為に増額すると共に、事業推進するため創設された。農業近代化施設、地域産業振興策、雇用につながる高齢者福祉施設、保育所等の補助とされている。市としては総合戦略において施設の雇用を図っていく。

地域おこし協力隊の受入れの検討は

市 先行自治体から情報収集し研究している



原口ひさよ 議員

地域おこし協力隊について

**議員** 地方自治体が都市住民の受入れを委嘱し、

**議員** 雇用条件に伴い、放課後児童クラブについて

**平方教育部長** 雇用条件においては、他の自治体も同じ課題である為、各自治体と情報交換をしながら、安心・安全な放課後児童クラブの運営を図っていきたくと考えている。

地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など、地域協力活動に従事してもらい、その安定、定着を図りながら地域の活性化の貢献する事業である隊員の報酬、活動員、活動に要する経費など、国が支援するとされている。多くの自治体が、この事業に取り組みられ成果が出ているとの事。市として地域おこし協力隊に取り組んではどうか。

**松永総務企画部長** 先行自治体の事例などから情報を収集し研究している。地域の課題と隊員の資質をマッチングさせ、市と地域が一緒になって隊員を活用できる仕組みを構築することが必要である。慎重に検討していかなくてはならないと考える。



放課後児童クラブ

ふるさと納税の更なる健全な発展へ

市 寄附者の心を確実に形にする



原 信義 議員

議員 東京など都会に生活している人が、ふるさとを思い、よくなつてほしいとの気持ちで寄附をするこの制度はすばらしい制度。これからも健全に発展させていくためには寄附者の気持ちに添える事業は一体何なのか、それをしっかりとつかんで市政をやつていかねばならないと思う。

松永総務企画部長 平成26年度の市への寄附は14件、519万円。制度発

足以降の累計は、85件の約1億2,600万円となっている。これまでの充当事業は累計で73件、総額943万円。残額は



ふるさとの「菱焼酎」

ふるさと基金に積み立てている。

議員 充当総額（これまでに使った金額）は寄附総額の7・5%。これは少なくないですか。どう運用していくかの基本方針が確立していないのではないか。

徳淵政策推進室長 以前

お一人様から1億円の寄附をいただいていますので、これを除けば40数%の充当率となります。1

億円についてはきちんとした充当策を見つける必要がある。

議員 従来、基金についてはその果実（運用益）を使ってきたが、ゼロ金利の今日、基金そのものを事業に充当していくのか。

松永総務企画部長 寄附

者の心を確実に形にしてい

くために、元金充当で

充分管理されていない特定空き家の対策は

市 新法の制定により立入検査の権限を付与された



山口 義文 議員

議員 空き家対策に関する法が制定され、市としての今後の対応とこの法により改善点はあるのか。

松永総務企画部長 本来

であれば、所有者の方が適正に空き家については管理をして頂くのが大前提という事に成つてますが、空き家対策特別措置法の制定により、立入検査の権限を与えられたので、市において適正な指導を行い、また所有者が特定で

きない時どの様な対応策が打てるのか、先進事例

等も研究し検討したい。議員 農道が関わる交差点での事故が多い。神埼

署管内での事故件数が県内上位であるとの新聞報道があつた。市内の事故状況に対する認識は。

松永総務企画部長 非常

に見通しのいい場所での事故が多発しています。交通や運転のマナーの怠りが発生を招いている。市と警察と、また地元と連携を取りながら、必要な場所に要望を行う。市

いでも注意喚起を促す手段として有効であり、十分地元と協議して設置を致します。

その他の質問

婦人会の組織・活動等について 市として婦人会に対してどのような位置付けで、どのような団体と考へてあるのか。



事故の多い交差点



### 国保税の引き下げを求める

市 自治体で補てんが可能であるなら進めたい



佐藤 知美 議員

**議員** 国の医療制度改革骨子における新たな負担増の状況は。

**高平市民福祉部長** 入院食費は現行一食二百六十円を、平成三十年には四百六十円へ。大病院の初診、再診における定額負担の導入。国保保険料の賦課限度額、二十七年より四万円の引き上げが示されている。

**議員** この間、一般会計より国保会計に繰り入れを行い、国保税の引き下げを一貫して求めてきたが、今回国の新年度予算で国民健康保険の財政支援として、低所得数に合わせた支援を目的として総



受診率を上げて健康増進を！

額一千七百億円が国保会計に繰り入れがなされる。この支援金を活用して、国保税の引き下げを求める。

**市民福祉部長** 国保は平成三十年より県の運営となるが、二十九年までの国保の財政支援は大きな期待であるが、保険料の引き下げについては厳しいと考えている。  
**議員** 来年度予算の支援

金を活用して京都市など少なからぬ自治体で国保税の引き下げを行っているが、このような立場に市長は立つ気があるか。

**市長** 国保税として、県下が同じ負担になってくるといふ想定はできる。それを超えて安くするというのは、自治体で補てんをする必要があるが、可能であるなら進めたい。

### 道徳教育の教科化について

市 国の動向を注視し対処していきたい



木原 憲治 議員

**議員** 景気回復と共に最重要課題と位置付けられている「教育再生」では、政権復帰したこの2年で道徳の教科化や教育委員会制度の見直しなど、戦後教育を大きく転換する政策が打ち出されているが、学校現場からは、政治色の強い改革の行方に懸念の声も広がっている。この道徳は2018年を目的に検定教科書を使う正式教科となり、子ども達の「内心」を評価する事になるが、評価が難しいと思われるが、今後の対処取り組みについてどのような考えなのか尋ねる。

**平方教育部長** 道徳教育の改善に関する論議の発端となったのがいじめの問題への対応であり、児童・生徒がこうした現実の困難な問題に対処する実効性のある力を育成していく上で、道徳教育の果たす役割が大きいと考えられるからです。道徳が教科になった場合に子供が道徳性をどの程度身につけたのかをどのように評価するのかが、問題点で、数字による評価はなじまない事もあり、国

の動向を注視し教育委員会とも連携しながら対処していきたい。

#### その他の質問

- ・全国学力テストの結果と公表について
- ・全国体力テストの結果と今後の取り組みについて
- ・土曜授業の導入について
- ・1学年1学級以下の小中学校の統廃合について



昨年末に導入されたタブレット (IC 機器教師用)

## 公共施設の利用について

### 市 駐車場については拡張なりを検討する



議員 箕原 忍

の意見や管理者との調整を図りながら、国の意見等を聞きながら対処していく。

**議員** 高速バス利用者駐車場の運営はどのように考えているか。有料にできないか。

**市長** 受益者負担は、当然、公平に行なうべきだと考える。

**議員** 中央公民館、図書館がリニューアルオープンし、利用客が見込める中、現在の専用駐車場では絶対駐車台数が足りないのは大きな問題ではないか。

**平方教育部長** 平日においては、不足は生じていない。日祭りの大きな催しなどでは、駐車台数が不足している現状である。

**議員** 北側の公園「こども広場」の駐車場利用は考えられないか。

**宇曾谷産業建設部長** 今後の来館者増加による慢性的な駐車場不足等が予想される場合は、利用者

もみじの湯



専用駐車場

### もみじの湯の回数券利用について

**議員** 今後、回数券の利用促進をどのように考えているか。回数券は現在本人しか使えない。

**甲斐高齢障がい課長** 回数券は一人の方が何度でも多く来ていただきたいとの願いからつくつていく。回数券の主旨をよく検討させたい。

**議員** 今後、回数券の利用促進をどのように考えているか。回数券は現在本人しか使えない。

## 透析患者療養の場の確保は

### 市 医師会と情報連携を図っていく



議員 野副 芳昭

脊振町4名の78名である。

**議員** 市内に透析ができる病院はあるか。

**甲斐高齢障がい課長** 神崎市内には透析が出来る病院がなく、佐賀市内に61名、鳥栖市内4名、大川・久留米に13名通院している。

**議員** 超高齢化社会を迎え、在宅医療の重要性に伴い、高齢者の透析患者は暮していく活動や生活の場が制限されつつある。平成26年度からの特定除外制度の廃止で早急な対策が必要ではないか。

**高平市民福祉部長** 特定除外制度は特定の疾病にある患者の長期入院による診療報酬を引き下げない制度であったが、急性期病床と療養病床の明確化を行なう為に廃止された。

**議員** 神崎市内で地区別透析の人数は。

**園田福祉事務所長** 神崎町48名、千代田町26名、



透析病院と治療室

命にかかわり本人の不安も大きくなる。神崎市内に透析を受けられる病院が必要ではないか。

**市長** 医師会に誘致の話もしているが病院側も利益がなければ成り立たないのか辞退された。災害の時に近くに病院があればと思う。

### その他の質問

・ケアプラン作成で、囲い込みはあっていないか。

### 王仁博士顕彰公園建設について

市 地域活性化、観光振興を図る



野口 英樹 議員

**議員** 王仁博士顕彰公園建設に概算3億円もかけて整備する目的と必要性について。

**宇曾谷産業建設部長** 「神

崎の夢資源、王仁博士の功績を楽しく学び、継承する公園づくり」を基本理念とし、王仁博士の顕彰を通じて、神崎市の歴史、文化を広く学ぶ場、また、市民同士はもとより、国内外との文化的な交流と憩いの場を整備し、地域活性化、人と人との交流増進や市内の歴史、文化を広く紹介するとともに、観光振興を図るため、新たな市内観光ルートの開発を目的としてい



韓国霊岩郡 百濟門

る。また、新たな観光拠点づくりや地域の个性的な観光資源、各施設等とのネットワーク化を図り、さらなる魅力あるまちづくりへと発展させていく必要があると考えている。

**議員** 今年四月上旬に市民公募を含めた、韓国霊

岩郡王仁博士誕生地訪問ツアーで、一般市民は有

料で、議員はどうして無

料なのか。

**宇曾谷産業建設部長** 議

員の霊岩郡訪問は、郡庁

への表敬訪問や歓迎レセ

プション等があり、公式

行事として、神崎市議会の代表議員の立場で公務として参加して頂きたいと考えている。

### 健康寿命と生涯スポーツ

市 体育協会活動について



西原 正剛 議員

**議員** 桜マラソン開催日は、桜の満開時に出来ないのか、折角日の隈公園までの桜並木を通過されるのに三月末開催で再度調整は出来ないのか。

**松永総務企画部長** これ

までの大会では、桜が

散った開催となり、ラン

ナーの方からも（桜が

散っていて残念だった）

との声もあっておりま

す。

神崎市として、3月末

開催の実現に向けて、関

係機関との調整を図り要

望していききたい。

**議員** 現在、新語に（健

康寿命）という言葉を目

にします。高齢化が進む

中、誰でも、健康で明るく生涯を過ごしたいと願っています。そこで、高齢化社会と生涯スポーツを活用した施策についてお聞きしたい。例として、市内各地で競技されているゲートボール、雨天時でも競技が出来る屋根付きコートを整備し市民のニーズに応える考えはなのか。

**平方教育部長** 屋根付きゲートボール場整備については、嬉野市、上峰町、江北町などが整備されています。ゲートボールだけでなく、保育園の運動会、各年齢層での利用価値がある施設として、市民交流事業や各種イベントが開催出来る多目的な利用を視野に入れたところで研究していききたいと考えています。



ゲートボール風景

男女共同参画社会の確保・がん予防対策について

市 道徳教育の実践・関係機関の動向をもとに



松本 軍二 議員

**議員** 男女共同参画・人権教育の意識づくりは、教育現場での影響が大きいと言われているが、学校現場における教育状況について問う。

**平方教育部長** 小学校低学年の時期から道徳・特別活動・授業・学校行事など学習活動の中で、道徳的な心情・判断力を養い、将来の男女共同参画社会に向けた教育を行っている。

**議員** 子宮頸がん予防には細胞診・「HPV検査」の方法があり、早期発見が可能である。受診時における、「併用診」の導入の考えについて問う。

高平市民福祉部長 HP

V検査は遺伝子レベルの検査でウイルス検出が高く「併用診」導入の自治体も多い。しかしながら、厚生労働省では検診の実施方法を検討中であり、国の動向を見守り、市民の健康づくりの健診内容となるよう検討を重ねる。

**議員** 検診当日、身体の不具合によりバリウム検査が出来ない受診予定者に対し、ピロリ菌検査の「代替検診」として、導入の考えについて問う。

**市民福祉部長** 現在、がん検診の在り方に関する検討会において、胃がん検診ガイドラインの見直し作業が行われており、ピロリ菌検査の導入について審議中であり、今後関係機関の意見などを基に検討を重ねる。



ねえ、知ってる？  
子宮頸がんって、  
20代から30代の女性に  
増えているんだって！

子どもへのインフルエンザ予防接種補助制度をつくれ

市 予防への取り組みを重点的に実施したい



福田 清道 議員

**議員** 市長は自分の選挙公約に、「子どもが健やかに育つまちとして子どもの健康対策」を掲げておられる。当選後一年になるが具体的にどのような対策を新たに作ったのか。

すでに県内十一市町において中学三年生までのインフルエンザ予防接種に補助制度を作っている。神崎市も是非作るべきである。

**高平市民福祉部長** 市民の相談業務、検診事業の充実を図り、インフルエンザを含め、まず予防が大事であることを特に考えている。従って予防への取り組みも重点的に

やっていきたい。

**議員** 王仁博士顕彰公園は日本と韓国、中国との古代から近現代に至る交流の歴史を学ぶ場として位置づけるべきと考えられる。特に、日本の明治以降の近代化の中で、朝鮮、中国への侵略の歴史に、私達はしっかりと向き合うべきである。

**市長** 韓国の霊岩郡との

王仁博士を通じた交流を密接にすることで、様々なことが生じて来る。しかしそれを通してお互いに勉強し、正しく歴史を理解していく機会になればと思っている。またここを国際交流の拠点となる場と位置付け、国際感覚を持った人材の育成、産業経済交流の促進に努めたい。



竹原の鰐神社

## 神崎市公式ホームページ 市議会のページをリニューアルしました

平成27年4月に神崎市の公式ホームページがリニューアルされたことに伴い、神崎市議会のページも新しくなりました。

市議会の概要や会議録の検索、これまで発行した市議会だよりや議会のインターネット中継など、様々な議会情報が検索しやすくなっています。

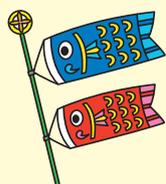


### 訂正

(1) 11月号「2月定例会」とあるのは、正しくは「11月定例会」です。

(2) 第33号平成27年「2月28日」とあるのは、正しくは、「2月10日」です。

(3) 18頁一般質問、野副芳昭議員の一段目右から5行目、「約7000万人」とあるのは、正しくは「約7000人」です。以上、お詫びして訂正します。



### 編集後記

3月、4月は別れと出会いの季節です。卒業式・入学式とそのつど子どもの成長に喜びを感じる保護者のみなさんと、時を同じくする機会が数多くありますが、我が家の長男も3年間の専門学校にと親元を旅立ちました。

1人暮らしを始めて3、4日後には「バイトを見つけたよ」、「本棚や服をカードで買ったから通帳から落ちるけどビックリせんぞね」と母親の元にメールを送ってきた。

親が思うほど心配することなく、子どもはしっかりと生活を積み重ね成長しようとしている事に安堵しながらも、どここの家庭でも同じように子どもの更なる成長を楽しみに親は精一杯の努力をおしまない日々が続く。  
(記 佐藤 知美)

広報委員会	
委員長	野副 芳昭
副委員長	中野 均
委員	西原 正剛
委員	野口 英樹
委員	山口 義文
委員	佐藤 知美